

令和6年9月（第9回）教育委員会会議議事録

1. 開催の日時及び場所

令和6年9月25日（水）18:00～19:00

市役所本庁 4階 教育委員室

2. 出席委員の氏名

野口 政吾 教育長

田村賢二郎 委員

山野あい子 委員

川崎 裕美 委員

重村 美帆 委員

3. その他議場に参加した者

床本部長、中村次長、佐々木学校教育課長、蔵本指導主事、平塚指導主事、三好教育総務課長、島谷教育総務副課長、大田教育総務係長

4. 傍聴者

なし

5. 要 旨

教育長 : ただ今から、令和6年9月25日の第9回教育委員会会議を開催いたします。本日は、委員全員が出席しているため会議として成立していることを最初に報告します。また本日は傍聴の申し出はありませんでした。

教育長 : 次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は川崎委員にお願いします。

教育長 : それでは、本日の議題は、議案第12号「令和6年度全国学力・学習状況調査結果について」の1件と、その他の事項として、「みらいWalkers★UBEについて」、「寄附の報告について」の2件となっています。

教育長 : 教育委員会会議は、公開を原則としていますので、本日の議題について、全て公開としてよろしいですか。

（全員異議なし）

教育長 : 異議がないようですので、本日の議題は全て公開とさせていただきます。

教育長 : それでは、議案第12号「令和6年度全国学力・学習状況調査結果について」、事務局から説明をお願いします。

指導主事 : それでは学校教育課から説明します。令和6年4月18日（木）に実施した、全国学力・学習状況調査の結果分析について説明します。資料をお配りしておりますが、まず、小学校6年生について、市内小学校24校1,214名が実施した結果について、国語の字部市平均正答率66%で、全国は67.7%ですので、-1.7%となっています。続いて、算数が-1.4%となっています。全体として、-1.5%となっています。中学校3年生について、市内12校1,140名が実施し、国語は全国平均に対して、-2.1%、数学-0.5%、全体として、-1.3%となっています。全体の結果として、全国平均と比較しまして、小学校が国語、算数で全国平均正答率を下回っており、中学校は、

数学は全国平均正答率と同程度ですが、国語は下回っているという結果になりました。続いて、教科ごとの分析結果です。小学校6年生の国語は、「情報の扱い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域において、全国平均を上回りましたが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」、「読むこと」の領域において、全国平均正答率を下回り、課題があることが分かりました。続いて、小学校6年生の算数ですが、「データの活用」領域は、全国平均正答率と同程度ですが、「数と計算」、「図形」「変化と関係」の領域において、全国平均正答率を下回りました。次に、中学校3年生の国語ですが、「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均正答率を上回り、「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均正答率と同程度ですが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域においては、全国平均正答率を下回りました。続いて、中学校3年生の数学ですが、「数と式」の領域では全国平均正答率を上回りましたが、「図形」「関数」「データの活用」の領域においては、全国平均正答率を下回りました。続いて、児童生徒質問紙による調査から、全国平均に比べて差がある箇所の中から、学力に繋がりがရှိそうな項目に注目して分析しました。課題の見られる状況については、携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人との約束を守れていない割合が、全国に比べて少し高いという結果でした。次に、総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合が、全国に比べて少ない結果になっています。次に、授業でのPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度について、週に3回以上使用している割合が小中学校ともに、全国割合より低い結果となりました。続いて、「国語の勉強が好きですか」の質問に対して、肯定的な回答が小中学校ともに、全国より少ない結果となりました。同様の質問で、「算数の勉強は好きですか」、「理科の勉強は好きですか」、「英語の勉強は好きですか」、これに対しての肯定的な意見は、小中学校ともに全国平均並、若しくはそれ以上といった結果からも、国語に関しての苦手意識があるようです。一方、全国より数値が高く、望ましい状況にある項目としては、資料のとおりですが、特に、困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるかの質問について、全国平均や県平均に比べて、「そう思う」と答えた割合は、宇部市は突出して高く、全国平均より20%以上高い結果となっています。以上の結果から、学力向上に向けての改善方策を4つお話します。1つ目、「誰一人として取り残さない」をめざした授業改善の推進です。個々によって課題や学習の習熟にも差がありますので、1人1台端末を活用して、学力定着・課題解決のための個別学習の時間が確保できるよう促します。次に、学力の二極化を解決するため、授業づくりシート「授業のスタートライン」を作成し、各校で活用するよう周知します。2つ目、学力向上推進協議会を発足し、分析や話し合いを通じて、会員による授業実践や「定着」「探究」の充実をめざした学習活動の展開、成果が見られ

る学校の実践事例の紹介・共有を行います。3つ目、昨年度から小学校3，4年生対象のC B Tによる学力定着状況の確認テストを実施しています。この目的は、児童の学力課題の早期把握で、経年変化を確認し、解決に向けた取組が実施できることです。4つ目、学校・家庭・地域の連携による取組の実施です。今回の学力調査の各個人の結果は、個人票として担任から保護者に渡して、家庭でも確認してもらっています。さらに、学校運営協議会でも学校の結果や課題を示すなど、保護者・地域を巻き込みながら、学力をテーマにした熟議を実施することで、学校・家庭・地域の連携も実施しています。最後に、今ご説明した結果は、宇部市全体と全国平均の比較です。学校単位で見ると、宇部市全体とは違った結果の学校もあります。以上で説明を終わります。

教育長 : ただ今の説明に対して、ご意見ご質問をお願いします。

委員 : 小学校3，4年生を対象とした学力定着状況の確認テストは、いつ頃から実施していますか。また、経年変化を確認し成果は出ていますか。

指導主事 : 昨年度から実施していますので、成果が確認できるのはこれからとなります。

委員 : 国語は説明をする力が大事だと思いますので、学び合いや教え合いが生まれる、自由進度学習を行うなどで説明力がつくことを今後期待しています。

蔵本指導主事 : ご指摘のとおりで、国語の力がないことで算数や他の教科にも影響しますので、今後も改善を推進します。

委員 : 紙での学習の方が学力に繋がるという説もありますが、I C T機器の使用頻度が低いことが学力に影響するのでしょうか。

学校教育課長 : 適材適所でI C T機器を活用するというのがベストだと思います。ただ、適所については苦慮するところだと思いますので、教員への指導研修などを行っていきます。

教育長 : ご意見がないようですので、議案第12号「令和6年度全国学力・学習状況調査結果について」は承認ということでよろしいでしょうか。
(全員異議なし)

教育長 : 次に、その他の事項で「みらいWalkers★UBEについて」、事務局から説明をお願いいたします。

指導主事 : それでは学校教育課から説明します。資料のパンフレットですが、宇部市内の中学校2年生を対象として開催する参加型職業体験イベント「みらいWalkers★UBE」では、キャリア教育の一環として働くことの意義や地元就職への意識の醸成を図るとともに、地元企業の魅力が体験できる機会を提供することを目的として開催しています。令和3年度から事業を実施しておりまして、参加した中学生、教員にも好評を得ています。参加対象者ですが、宇部市内中学校2年生で、今年度は約1,350人となります。また、公立中学校だけではなく、宇部フロンティア大学付属中学校、山口県立宇部総合支援学校中等部2年生も参加対象者です。実施日は、令和6年10月2日水曜日、10月3日木曜日の9時30分から15時30分で、その中の2時間で体験していきます。会場は、俵田翁記念体育館です。参加団体は、30社の企業団体で、全てオンラインで

はなく直接の体験となります。体験方法については、参加する生徒が興味関心のあるブースを選択し、簡単な職業体験を行うことで職業についての興味を深め、働くことや地元企業への関心を高めていきます。また、職業体験イベントを一層効果的なものにするため、事前、事後学習を行います。事前学習では、職業興味診断を実施したのち、自分はどんな職業に興味があるのかを理解し、出展企業を見たうえで、どの企業、どのブースの体験活動に参加するか、どのようなことを質問したいかをインタビューシートに記入して体験活動を行います。事後学習については、体験を通してわかったことや大変だったことなどを振り返りシートに記入します。事前、事後学習を充実させることで、体験活動が一層効果的になるようにしたいと考えています。以上で説明を終わります。

教育長 : ただ今の説明に対して、ご意見ご質問をお願いします。

委員 : 今年度のイベントでは、農業体験はありませんか。

指導主事 : 関連団体に声をかけたところですが、今年度は都合がつかないとのことでした。

委員 : 参加企業の募集方法はどのように行っていますか。また、出展料は必要ですか。

指導主事 : 主に、生徒に事前アンケートを取り、興味関心があるものに応じて企業選定をしています。また、出展料は取っておらず、無料で行っております。

教育長 : 他に意見がないようですので、次に、その他の事項で「寄附の報告について」、事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長 : 8月の寄附について報告します。8月は1件の寄附がありました。令和6年8月6日匿名の方から、平成24年度から通算148回目5,000円の御寄附を交通遺児のためとしていただきました。説明は以上です。

教育長 : 報告については以上となりますが、何かありましたらお願いします。
では、以上をもちまして、本日の会議を終了します。